

ミッション・価値・目標設定シート(MVTシート)

様式2-1

○基本情報

団体名	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会	所管局名	保健福祉局
設立目的	市民、事業者及び本旨がそれぞれ有する人材、資力その他の福祉資源を総合的に活用することによって、市民福祉を振興するための事業を創造し、かつ推進し、もって市民の福祉の向上に寄与する		
記載日	平成28年2月15日		

M 市民団体「使命」Mission

長期	神戸市民の福祉をまもる条例の理念の実現をめざし、市・事業者・市民の三者をつなぐ役割を担いながら、市民福祉を振興するための事業を創造・推進し、市民福祉の向上に寄与する。また、しあわせの村においては、その実現の場として、村内の民間福祉施設との連携をさらに深めながら、市民福祉事業を推進していく
5年	<p>ノーマライゼーション社会の実現をめざし、ユニバーサルデザインのさらなる推進など公益性、先駆性を発揮する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市民、専門家、NPO法人などと連携した多様な福祉の担い手とのコーディネート機能の強化を図り、ネットワークを生かした人づくり、仕組みづくりを推進し、新たな市民福祉振興事業を展開する。</li> <li>2. 経営基盤の確立</li> </ol>

V 市民「価値」Value

様々な福祉的課題について情報収集を図りながら、既存制度では迅速または十分に対応しきれない分野を的確に見出し、市の外郭団体・公益法人としての公益性や公平性、信頼性をベースに、当協会の存在意義である先駆性を発揮しながら、積極的な事業展開を図ることにより、誰もが安心して暮らせる「ユニバーサルなまち神戸」となる。

1. NPO法人やボランティア団体等の多様な福祉の担い手及び専門家との協働によるコーディネート機能の強化や人材育成への取り組みにより、意欲を有する市民・団体にとって活躍できる機会が広がる。
2. 市民福祉の拠点である「しあわせの村」の新たな市民福祉事業のモデル的・試行的な実践の場としての活用を促進と併せ、情報発信の強化及び来村者の増加を図ることにより、市民の福祉意識が向上し、福祉活動が活発化する。
3. 職員の人材育成や財務などの経営基盤を確立することにより、市民が安定的かつ継続的に福祉サービスが利用できるようになる。

T 事業目標 Target

<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>E</b>	<b>F</b>	<b>G</b>	<b>H</b>	<b>I</b>
<p>【外部人材とのネットワークの構築と「2025ビジョン」の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材を招いた「戦略会議」の設置や助成制度をはじめとする各種事業を通じ外部人材・団体等とのネットワークの構築</li> <li>・新たな時代変化の中で「ともに支え合う社会」の実現に向けた2025年(平成37年)を目標とする協会の針路を内外に発信するため「2025ビジョン」の策定(平成30年度)</li> </ul>	<p>【市民福祉意識の啓発とリーダー的人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しあわせの村におけるボランティア団体等の活動・交流やリーダー研修等の活動としての「福祉活動支援総合プラザ」の開設</li> <li>【しあわせの村におけるボランティア活動参加者数】</li> <li>H27目標 3,900人</li> <li>H28目標 4,000人</li> <li>H29目標 4,100人</li> <li>H30目標 4,200人</li> <li>・「ふれあい体験学習」の充実等による地域や学校における福祉意識の啓発</li> <li>【ふれあい体験学習参加者数】</li> <li>H27目標 2,500人</li> <li>H28目標 2,600人</li> <li>H29目標 2,700人</li> <li>H30目標 2,800人</li> </ul>	<p>【新たな障がい者就労形態の開拓】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しあわせの村で栽培作業に取り組んでいる農産品の統一ブランド化</li> <li>・6次産業化の手法を活用した農産物の高付加価値化</li> <li>・しあわせの村馬事公園で発生する馬糞の堆肥化・活用</li> </ul>	<p>【ユニバーサルデザイン(UD)の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しあわせの村におけるUD化の推進(スマートフォンを活用した誰にも使いやすい案内システムサービス等)</li> <li>・各種啓発事業を通じた全市的なUDの普及・啓発</li> </ul>	<p>【しあわせの村の理念の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同事業体構成事業者や村内福祉施設等とのさらなる連携による活性化策の推進や市民福祉事業の実施</li> <li>【入村者数】</li> <li>H27目標 189万人</li> <li>H28目標 190万人</li> <li>H29目標 191万人</li> <li>H30目標 191万人</li> <li>【利用者満足度(NSI値)】</li> <li>H30年度までに73.75</li> <li>・若年性認知症や発達障がい児・家族の支援事業、障がい者芸術活動の支援などの取り組みの推進</li> <li>・生活習慣病予防事業</li> <li>・産学との連携による活用フィールドとしての活用</li> </ul>	<p>【神戸市シルバーカレッジの機能強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生やNPO法人「社会還元センターグループわ」との連携強化によるボランティア活動の場の拡大</li> <li>【在校生・卒業生ボランティア活動参加者数】</li> <li>H27目標 48,500人</li> <li>H28目標 49,000人</li> <li>H29目標 49,000人</li> <li>H30目標 49,000人</li> </ul>	<p>【市民福祉施設の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(垂水年金会館)身近な市民福祉振興の拠点施設として福祉啓発プログラムを推進</li> <li>【垂水年金会館市民講座受講者数】</li> <li>H27目標 65人</li> <li>H28目標 70人</li> <li>H29目標 75人</li> <li>H30目標 80人</li> <li>・(保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺)</li> <li>障がい者就労支援にも引き続き取り組み、市民の憩いの場、市民福祉振興のための施設として事業を展開</li> <li>【利用者数】</li> <li>H27～H30目標 275千人/年</li> </ul>	<p>【介護保険関係業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内唯一の事務受託法人として、公平性・中立性を担保しながら、適正な施行体制を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の充実や新規事業開発の取り組みを通じた固有職員の育成</li> <li>・損益黒字の確保</li> <li>【損益収支(正味財産期末残高)】</li> <li>H27目標 52百万円(468百万円)</li> <li>H28目標 52百万円(520百万円)</li> <li>H29目標 52百万円(572百万円)</li> <li>H30目標 54百万円(626百万円)</li> </ul>

## 平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月27日
団体名	こうべ市民福祉振興協会	所管局名	保健福祉局

## ○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:5)
H29事業目標	【外部人材とのネットワークの構築と「2025ビジョンの策定」】 これまで取り組んできた「戦略会議」における勉強会やプロジェクトチームによる調査・研究活動の成果を踏まえ、2025年を目標とする当協会の針路を内外に発信するための「2025ビジョン」の策定に向け、学識経験者等による検討委員会を新たに発足し検討を行う。		
H29実績評価	学識経験者やNPO法人などの外部有識者を含めた「2025ビジョン検討委員会」を発足し、2025年の協会のあるべき姿、取り組むべき重点施策を示し、長期的な方向性や戦略を可視化するための「2025ビジョン」の策定を目指して検討を行った。	評価	
		S A B C	
H30事業目標	団塊世代が75歳以上となる2025年に向け、「人をつないで、イノベーションを起こす」をコンセプトに「これからの市民福祉の実現」と「しあわせの村の新たな価値の創造」を目指して、「2025ビジョン」を策定し、併せて、実現に向けた具体的な事業実施計画である新たな中期経営計画(2019~2022年度)を策定する。		
評価担当者	経営企画課長 山本 隆		

事業No.	1-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	【市民福祉意識の啓発とリーダー的人材の育成】 ①ボランティア活動参加者数 4,100人 ②「ふれあい体験学習」参加者数 2,700人		
H29実績評価	①28年度よりボランティア活動拠点として本館7階(バーラウンジ跡)にボランティアスペースを設置しており、イベントの打ち合わせや準備等で活用した。(使用回数約130回) ボランティア活動参加者数は5,412人となり数値目標を達成した。 ②ふれあい体験学習参加者数は3,486人となり数値目標を達成した。	評価	
		S A B C	
H30事業目標	【市民福祉意識の啓発とリーダー的人材の育成】 ①ボランティア活動参加者数 4,200人 ②「ふれあい体験学習」参加者数 2,800人		
評価担当者	事業推進課長 岩佐 直紀		

事業No.	1-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	<p>【新たな障がい者就労形態の開拓】</p> <p>①しあわせの村オリジナルブランド「神戸幸品」の新たな商品の販売を検討する。</p> <p>②「農福連携事業」について、新たな商品開発の検討を行う。</p> <p>③しあわせの村馬事公苑で発生する馬糞の堆肥化・活用に向けた調査・検討を引き続き行う。</p> <p>④神戸芸術工科大学との連携協定に基づき、障がい者施設との連携によるアート作品のワークショップや製品化に向けた検討を行う。</p>		
H29実績評価	<p>①村で生産された製品のオリジナルブランド「神戸幸品」について、はちみつと原木しいたけの販売を行った。(はちみつ売上643千円、原木しいたけ売上307千円)</p> <p>②6次産業化への取り組みとして、にんじんジュースに引き続き、29年11月よりさつまいもかりんとうの販売を開始した。(にんじんジュース販売数1,911杯、さつまいも販売数88袋)</p> <p>③馬糞の堆肥化・活用に向けた調査・検討を引き続き行った。</p> <p>④神戸芸術工科大学との連携協定に基づき、障がい者施設との連携によるアート作品のワークショップ等を実施し、絆創膏やポケットティッシュケースなどの手工芸品を村のノベルティ商品や販売品として製品化した。</p>	評価	<p>S</p> <p><b>A</b></p> <p>B</p> <p>C</p>
H30事業目標	<p>【新たな障がい者就労形態の開拓】</p> <p>①しあわせの村オリジナルブランド「神戸幸品」について、引き続きはちみつや原木しいたけの販売促進等の充実を図るとともに、新たな商品の販売を検討する。</p> <p>②農福連携事業の取り組みとして、引き続き「にんじんジュース」の販売を行うほか、新たな商品開発の検討を行う。</p> <p>③しあわせの村馬事公苑で発生する馬糞の堆肥化・活用について、関係団体における進捗があれば、事業化に向けた協力を行う。</p> <p>④神戸芸術工科大学との連携協定に基づき、障がい者施設との連携による新たな製品の開発に向けた検討を行う。</p>		
評価担当者	経営企画課長 山本 隆		
事業No.	1-D	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:5)
H29事業目標	<p>【ユニバーサルデザイン(UD)の推進】</p> <p>①「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを引き続き進める。29年度は、UD整備計画をもとに、しあわせの村サイン計画の策定やUD情報提供コンテンツシステムを活用した屋外型タッチ式デジタルサイネージナビの設置に取り組む。</p> <p>②「こうべUD大学」、「夏休み親子UD教室」、「こうべユニバーサルデザインフェア」、「UDスポット見学ツアーinしあわせの村」を引き続き行い、さらに「こうべUDサポーター」とともに、小中学校や地域における出前授業や学習会を行う。</p>		
H29実績評価	<p>①しあわせの村において、UDの考え方を取り入れ、サイン計画の指針となる「しあわせの村UD案内サインデザインガイドライン」を策定した。また、28年度に開発したアプリケーションナビ「だれでもナビ」と連携し、「しあわせの村屋外型タッチ式デジタルサイネージナビ」を設置した。</p> <p>②以下の通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こうべUD大学」(受講者数63人(全10回))</li> <li>・「夏休み親子UD体験教室」(参加者200人)</li> <li>・「こうべユニバーサルデザインフェア」(来場者10,500人)</li> <li>・「UDスポットツアーinしあわせの村」(参加者1,068人)</li> <li>・「UD出前授業」(訪問校32校)</li> </ul>	評価	<p>S</p> <p><b>A</b></p> <p>B</p> <p>C</p>
H30事業目標	<p>【ユニバーサルデザイン(UD)の推進】</p> <p>①「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを引き続き進める。また、28年度に策定したUD基本構想におけるUD整備計画及び29年度に策定した「しあわせの村UD案内サインデザインガイドライン」に基づき、神戸市と連携しながら施設・設備の整備に取り組む。</p> <p>②「こうべUD大学」、「夏休み親子UD教室」、「こうべユニバーサルデザインフェア」、「UDスポット見学ツアーinしあわせの村」、「UD出前授業」に引き続き取り組み、ユニバーサルデザインの普及啓発に努める。</p>		
評価担当者	経営企画課長 山本 隆		

事業No.	1-E	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	<b>【しあわせの村の理念の実現】</b> ①入村者数 191万人 ②利用者満足度(NSI値) 73.75 ③認知症介護予防教室、「発達の気になる子の体験ひろば」、「こころのアート展」の開催		
H29実績評価	①入村者数は188万9千人で、8月から10月の間の休日に4度の台風が上陸または接近し、10月の「リサイクルバザー」が中止となったことや、改修工事のため研修館ホールを一時利用停止した影響により、目標を達成することができなかった。 ②29年度実施の入村者アンケートにおける利用者満足度(NSI値)は72.8であり、当年度の目標を達成することができなかった。 ③以下の通り実施し、当年度の目標を達成することができた。 ・認知症介護予防教室(受講者88人) ・発達の気になる子の体験ひろば [体験ひろば(受講者36名(全10回))、 保護者向け講座(参加者154名(4回計))、 交流会(参加者11人)] ・こころのアート展 [作品展(出展者10人、来場者7,400人(22日間計))、 ワークショップ(参加者111人)、 巡回展(市役所市民ギャラリー、デザイン・クリエイティブセンター神戸、あさご芸術の森美術館、こうべまちづくり会館)		<b>評価</b>  S A B C
H30事業目標	<b>【しあわせの村の理念の実現】</b> ①入村者数 191万人 ②利用者満足度(NSI値) 73.75 ③「認知症介護予防教室」、「発達の気になる子の体験ひろば」、「こころのアート展」の開催		
評価担当者	経営企画課長 山本 隆、事業推進課長 岩佐 直紀		
事業No.	1-F	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1)
H29事業目標	<b>【神戸市シルバーカレッジの機能強化】</b> 在校生・卒業生ボランティア活動参加者数 49,000人		
H29実績評価	ボランティアグループによる活動や地域交流活動及び学生とシルバーカレッジ卒業生(グループわ)との協働活動の拡充に取り組んだ。29年度のボランティア活動参加者数は50,044人で、当年度の目標を達成することができた。		<b>評価</b>  S A B C
H30事業目標	<b>【神戸市シルバーカレッジの機能強化】</b> 在校生・卒業生ボランティア活動参加者数 49,000人		
評価担当者	カレッジマネージャー 岩見 賢治		

事業No.	1-G	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:4)
H29事業目標	【市民福祉施設の運営】 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺利用者数 275千人 ※当協会による垂水年金会館運営は29年3月31日で終了		
H29実績評価	保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺利用者数は250.4千人となり、前年度より利用者を伸ばすことはできたが、当年度の目標を達成することができなかった。	評価	
		S Ⓐ B C	
H30事業目標	【市民福祉施設の運営】 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺利用者数 275千人		
評価担当者	経営企画課長 山本 隆		

事業No.	1-H	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:2)
H29事業目標	【介護保険関係業務】 介護保険制度の公正・公平な運営の確保に寄与するため、適正な執行体制を確保しながら、要介護認定調査(新規・変更)を円滑に実施する。		
H29実績評価	調査件数の増加に対して、調査員の採用を行ったが、退職者も多く、調査員数は29年度の事業計画を下回った。  (参考) 調査件数:28年度31,040件→29年度31,491件 調査員:28年度62人→29年度57人	評価	
		S Ⓐ B C	
H30事業目標	【介護保険関係業務】 介護保険制度の公正・公平な運営の確保に寄与するため、適正な執行体制を確保しながら、要介護認定調査(新規・変更)を円滑に実施する。		
評価担当者	在宅支援課長 由良 康二		

事業No.	1-I	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:5)
H29事業目標	①係長級固有職員を中心としたプロジェクトチームを結成し、協会の進むべき方向や柱となる施策を見出す調査・研究活動を行う。 ②損益収支(正味財産期末残高) 52百万円(572百万円)		
H29実績評価	①係長級固有職員と担当職員で、今後の協会のあり方について討議を行い、2025ビジョン案に反映した。 ②垂水年金会館施設を神戸市へ寄贈したことに伴う271百万円の経常外費用を計上したこともあり、損益収支については147百万円の赤字が発生し、正味財産期末残高については455百万円となり、当年度の目標を達成することができなかった。	評価	
		S Ⓐ B C	
H30事業目標	①「2025ビジョン」の実現に向け、係長級職員による議論を踏まえながら、具体的な事業実施計画である中期経営計画(2019~2022年度)を策定する。 ②損益収支(正味財産期末残高) 54百万円(626百万円)		
評価担当者	総務課長 佐久間 泰次、経営企画課長 山本 隆		

## 平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年9月5日
団体名	こうべ市民福祉振興協会	所管局名	保健福祉局

## ○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【総合評価の理由】</p> <p>しあわせの村内の障がい者施設の利用者と神戸芸術工科大学との連携による共同アート制作による障がい者就労支援や、小・中学校へのUD出前授業によるユニバーサルデザインの普及啓発、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたしあわせの村内の案内サイン計画の策定等、市民福祉の向上に資する先駆的な取組みを推進している点は評価できる。</p> <p>一方、しあわせの村の入村者数については、目標人数を達成していないものの、台風の影響等を主要因とするものであり、引き続き、より一層の活性化に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、29年度は、垂水年金会館を本市に寄贈したことに伴い、多額の経常外費用を計上したため、損益収支は赤字となり、目標を達成していないものの、30年度については、損益収支の黒字を確保できる見込みであり、引き続き、安定した経営に取り組んでいただきたい。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p><b>A</b></p> <p>B</p> <p>C</p>
<p>対応方法</p> <p>(総合評価がB又はCの場合は必ず記載)</p>	/	
評価担当者	保健福祉局市民福祉推進課長 酒井 竜一郎	